

授業科目 病態と診療Ⅰ（Ⅰ） 脳神経	区分・教育内容 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 柴田 敬一（中通総合病院）	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 10 時間／30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。 授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要 人口の高齢化に伴い、認知症や脳血管障害など脳神経疾患が増加しています。また脳神経の知識は他の分野にも応用できるため、大切な分野です。授業ではスライドを用いて基礎からわかりやすく解説します。また、随時国家試験問題の解説や考え方も講義します。 授業計画（進め方） 1 回目 主要な症状と徴候 (意識障害、頭痛、運動麻痺、けいれん) 2 回目 末梢神経疾患、筋肉・神経筋接合部疾患 (疾患の病態と診断・治療) 3 回目 中枢神経疾患① 4 回目 中枢神経疾患② 5 回目 脳・神経機能障害のある患者の看護、リハビリテーション			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 脳神経 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療Ⅰ 100 点満点中の 30 点			

授業科目 病態と診療 I (2) 運動器	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 成田 裕一郎 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	10 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要 <p>運動器とは、骨や関節、脊髄、末梢神経、筋肉などの総称で日常生活の中で目的とする動作を実行する器官である。</p> <p>運動器疾患患者は、人間の動的機能や形態的機能がその器官の損傷や加齢による変化などのために先天的または、後天的に損なわれている状態である。このような運動器疾患患者の主な病態・症状・検査・治療について理解を深め、看護者が果たす役割の理解につながることを期待する。</p>			
授業計画(進め方) 1 回目 総論 骨の構造・機能・種類 2 回目 骨折の種類と病態・症状・検査・治療 3 回目 腰椎椎間板ヘルニア・腫瘍及び腫瘍類似疾患の病態・症状・検査・治療 神経麻痺、脊髄損傷の病態・症状・検査・治療 4 回目 化膿性骨髄炎、拘縮・硬直・脱臼、切断、挫滅創、腫瘍 関節リウマチ・変形性関節症・痛風の病態・症状・検査・治療 5 回目 リハビリテーション まとめ			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療 I 100 点満点中の 30 点			

授業科目 病態と診療 I (3) 女性生殖器	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 利部 徳子 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	8 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要 テキストと教材を用い、学生がイメージしやすい授業展開をしたい。			
授業計画(進め方) 1 回目 女性生殖器の構造と機能 2 回目 良性腫瘍 3 回目 悪性腫瘍 4 回目 機能的疾患			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療 I 100 点満点中の 30 点			

授業科目 病態と診療 I (4) 乳腺	区分・教育内容 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 清澤 美乃 (中通総合病院)	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 2 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。 授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要 乳癌は、女性の癌としては最も多い病気です。現在では年間約 7 万人 (=11 人に 1 人) が乳癌と診断されています。 ここでは看護者として、乳癌の基本的な病態・症状・検査・治療を理解、習得して下さい。 授業計画 (進め方) 病態：疫学や解剖・生理 症状：腫瘍性病変と非腫瘍性病変について 検査：画像診断や生検など 治療：手術、内分泌療法、化学療法、放射線療法など 以上テキストに沿って行いますが、より良い理解のために、最新の臨床の事例も加えた授業を予定しています。			
テキスト 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療 I 100 点満点中の 10 点			